

アッヴィ、1日1回投与ですべてのタイプのC型慢性肝炎ウイルスに対する効果を検討する第Ⅲ相試験への登録を日本人患者さんを対象に開始

March 14, 2016

アッヴィ、1日1回投与ですべてのタイプのC型慢性肝炎ウイルスに対する効果を検討する第Ⅲ相試験への登録を日本人患者さんを対象に開始

・ 第Ⅲ相試験へ初の患者さんの登録がスタート

アッヴィ合同会社（本社：東京都港区、社長：ジェームス・フェリシアーノ）は、ジェノタイプ1～6（GT1～6）型のC型慢性肝炎ウイルスに感染した日本人患者さんを対象とするC型肝炎治療レジメン、NS3/4Aプロテアーゼ阻害剤ABT-493およびNS5A阻害剤ABT-530による経口剤のみの1日1回投与、リバビリン非併用における有効性及び安全性を検討する第Ⅲ相試験を順次開始していることをお知らせします。

日本での第Ⅲ相試験では、アッヴィの国際第Ⅲ相C型肝炎パイプラインプログラムの一環として、ジェノタイプ1～6型までの患者さんを対象とし、開発中のレジメン、ABT-493およびABT-530の1日1回投与を検討します。本試験は多施設共同試験で、無作為に選ばれた方々に対し、非盲検下での検討が行われます。有効性の主要評価項目は投与12週後の継続的なウイルス学的著効（SVR₁₂）率です。

アッヴィのC型肝炎臨床開発プログラムについて

アッヴィのC型肝炎臨床開発プログラムは、すべてのジェノタイプ（ジェノタイプ1～6型）を標的とする経口剤のみの1日1回投与の治療選択肢を検討することにより、C型肝炎の科学的知見およびC型肝炎患者さんの臨床診療を進展させることを目標としています。

ABT-493は、アッヴィとEnanta Pharmaceuticals社（NASDAQ：ENTA）との提携のもと、現在も進行中のC型肝炎ウイルスプロテアーゼ阻害剤、およびプロテアーゼ阻害剤を含むレジメンの共同研究において発見されました。

アッヴィについて

アッヴィは、アボットラボラトリーズからの分社を経て2013年に設立された研究開発型のグローバルなバイオ医薬品企業です。弊社のミッションは、専門知識、献身的な社員、独自の革新的アプローチを通じて、世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する先進的な治療薬を開発し、提供することです。アッヴィは、世界で約28,000人以上を雇用し、170カ国以上で医薬品を販売しています。当社の概要、ならびに当社の人材、ポートフォリオ、コミットメントの詳細については、www.abbvie.comをご覧ください。またTwitterにて@abbvieをフォローし、FacebookページまたはLinkedInのキャリアページをご参照ください。

今後の見通しに関する記述

本リリースにおける記載には、1995年米国私募証券訴訟改革法に示される「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述は、通常、「見込み」、「期待」、「予想」、「予測」、および同様の表現によって識別されます。これらの今後の見通しに関する記述は、予測内容と大いに異なる結果が生じる可能性があるリスクや不確実性の影響を受けます。そのようなリスクと不確実性には、知的財産の問題、他の製品との競合、研究開発プロセスに必然的に伴う困難、不利な訴訟または政府措置、医薬品業界に適用される法律および規制の変更が含まれます。アッヴィの経営に影響を及ぼす可能性のある経済、競合状況、政府や科学技術その他の要因は、10-K書式によって米国証券取引委員会に提出済みのアッヴィの2014年度アニュアルレポートの1A項「リスク要因」の項目に記載しています。アッヴィは、法律で要求される場合を除き、本リリースの発表後に出来事や変化が生じた場合も今後の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。